

## 5月の植物

### イヌザクラ (バラ科)

学名 : *Prunus buergeriana*

イヌザクラは別名シロザクラとも言う。落葉高木、高さ 10~15m、直径 20~30 cmになる。本州、四国、九州に分布し、佐賀県では多良岳、経ヶ岳、羽金山で確認されている。佐賀県植物目録(1981)には「ごく稀」とある。私は多良岳で 5 本確認している。葉は互生。葉身は長さ 5~10 cm、幅 2.5~3.5 cmの長楕円形。先端は尾上に長くとがり、基部はくさび形。ふちは波打ち、やや浅い鋸歯がある。用紙質で普通両面とも無毛だが、裏面の主脈に毛が生えることもある。蜜腺は葉身の基部にある。葉柄は長さ 1~1.5 cmで無毛。葉をもむと青臭いにおいがする。花は 4~5 月、葉の展開後に開花する。前年枝の節から出た長さ 5~10cm の総状花序に白い花が多数つく。花序の軸には短毛が密生し、葉はつかない。冬芽は紅紫色で光沢があり可愛い。根の皮を染料に用い、果実を塩漬けして食べる。

イヌザクラと出会った頃、花期の時期ではなかったため、先輩から「イヌザクラと思うけど、花を見ないとね！」と助言を受けた。あれから 10 年、平成 26 年の九州合同観察会佐賀大会が武雄市のハートピアで開催された際、「多良岳登山道の樹木を樹肌で判別できないか？」というテーマで発表する機会を得た。その冒頭、イヌザクラと出会って 10 年目の今年、初めてイヌザクラの花の写真撮影に成功したことを報告した。すると、すぐ大分の役員の K さんから「イヌザクラの苗」が届いた。現在、我が家の庭には 2 本が育っているが、太さが幹周り 20 cm と 12 cm、高さは約 3 m になった。今年で 9 年目、花が咲くのを楽しみにしている。 (小池 英毅)



イヌザクラの花 (猪瀬戸湿原) 2015.5.10



多良岳で 10 年ぶりイヌザクラの花 2013.5.24



庭の 20 cm のイヌザクラ

#### 【参考文献】

三溪ハンディ図鑑3「木に咲く花」離弁花 1 一山と溪谷社  
樹皮・葉でわかる「樹木図鑑」野山や身近に見られる 255 種  
一成美堂出版  
佐賀県植物目録—1981—馬場胤義編 佐賀植物友の会 発行